

初て小野寺遠江守明應元年八月五日小館を布立
横江田尻迎小出三手小分る松ヶ柵の口先陳山田飛澤守
二陳小野寺越中守後陳葦生森左近八幡口小野主膳
五陳大築地但馬後陳保主税より遠江守觀音堂
小陳取角館松ヶ柵城戸八柳茂木菅式百余人一
手八田口黒川小山田又百余人北々方小笠原山岡宮川
三百余騎南方本堂式百余人松ヶ柵田佐々木簡
等百三十余人先小進、合戦す次日鈴木兄弟分々藤
細田栗阪原大沢以下の弓上幸共散り小村る手負
死人廿初と田口小山田戸沢黒川永山丸山井関

佐藤戸沢壘を破り進む田口ハ今日の合戦誠小敵
羽あれど敵を討ても首取ふ村落して目拭るなと一度
小とらと馳出す小笠原勢の中小水谷江平とりよ者精兵
あつたタリ六寸余の大刀亦を散り小村小野寺勢討
り者百又十余人小野主膳透間を窺ひ八幡口西野の
方より岩れハサコを傳へ田を傳へ本所の南れ方止乱
入在家止火を撤令とあつたを見く二陳小出たる遠藤左
近田に喜兵衛近藤筑後前田但馬小館大膳同市
兵衛村越佐久間田中提隱明奇を略として小野寺
勢を破りて市主膳手勢又十余人討じ引退く山内